

一般質問

**問** 廃校になった学校の活用はできているのか

**答** 利活用に取り組む

小笠原妙子議員

廃校になっている学校の跡地の利活用の状況は、旧大田口小学校では10世帯が入居できる住宅の準備が進んでいると聞くが、完成予定はいつなのか。

岩崎憲郎町長

旧大田口小学校については現在、細部について



旧大豊小学校

設計段階であり、発注の段階になれば、完成予定

日、入居予定日等を示すことができる。他の学校の利用については、旧川口小学校は、現在利用している。旧東豊永小学校については、一部改修して交流事業で使用する計画もある。まだ利活用ができていない学校については、地域を中心に利用することが必要であるので、地域のコミュニティに配慮しながら、今後とも利活用に取り組みでいく。

一般質問

**問** 若者の熱い思いや意見を聴く場を持つてはどうか

**答** 全力で取り組む



三谷幸一郎 議員

11月に、12年ぶりに行われた町長選挙は、久しぶりに町のトップを選ぶ機会とあって関心は高

小笠原妙子議員

他の町村においては、学校跡地を有効利用した事例がたくさんある。本町においては、そのような計画が見えず大変残念な思いである。早急な取り組みを要請する。

岩崎憲郎町長

今まで、地域と相談をしながら取り組んできたと考えており、指摘の趣旨のもとに取り組んできた結果が今日の結果であり、今後とも取り組んでいくので、具体的な提案等もいただきたい。

一般質問

**問** 役場庁舎の建て替えを再度問う

**答** 早急な検討をする

三谷幸一郎議員

昨年の6月議会にも質問したが、先の町長選挙でも庁舎の耐震、建て替え問題は争点の一つになった。想定される南海地震の歴史をたどると、熊本地方で大地震が起き、次に南海トラフの西の端とされる宮崎県沖の日向灘で発生した後に南海地震が発生する例がある。昨年4月に震度7の大地震が2度熊本地方で起き、10月に日向灘でM4・4の地震が発生している。この2つの地震を踏まえると南海地震は近

岩崎憲郎町長

庁舎の地震対策については、先にも答弁したとおり、緊急的な措置を急ぐ必要があるとの判断のもと、早急な検討をしたと考えている。

一般質問

**問** 携帯電話やパソコンを悪用した詐欺被害の未然防止を

**答** 啓発活動等に力を入れる

三谷幸一郎議員

最近オレオレ詐欺にかわり、新たに携帯電話のショートメールに「有料サイトの未払い金が発生している。期限までに払



役場庁舎

い込みがない場合には法的措置をとる。については記載の相談窓口で電話するように」とのメールが入り、「法的措置をとる」に驚いて相談窓口へ連絡

一般質問

**問** 林業政策を問う

**答** 林業再生に取り組む



重森一宗 議員

町長が進めている林業振興策等で「高知おおとよ製材」「丸和林業」「木材集積場」、加えて「風力発電」等があるが、それらについて、住民が実感できる形で効果を丁寧の説明しなければならぬとの声があった。現在と将来において予測される

けを。

岩崎憲郎町長

指摘のことがよく報道され、町内でも相談を寄せられた経過もある。町民が被害に遭うようなことがあってならないので、啓発活動等に力を入れて取り組み、町民が被害に遭わないように努力をする。

本町への収入について聞く。

岩崎憲郎町長

本町の収入は、固定資産税、法人町民税、賃貸料などの直接的な収入として見込まれるが、各事業が営業することによって、もたらされる経済の動きがあるわけで、そこで働く人の給与、県内から集まってくる約10億円を超える材木代などがあり、この部分をなるべく地元で吸収できるように

かつてこそ町長の掲げる「積極人口100%」が実り、町の明るい将来が見えてくるのではないかと。

岩崎憲郎町長

町政は、町民の皆さんの意見を聴くことが最も大切なことであり基本だと思っている。現在ま



間伐事業

し、この動きを山に届け、山の林業再生ができることが目的であり、全力で取り組む。

重森一宗議員

大豊町の山林は、これから間伐・全伐・再造林・下刈り・枝打ち等を行うことになるが、再造林・刈り込み・枝打ち等に対するそれぞれの国・県町の補助金について聞く。

岩崎憲郎町長

再造林については、町が10%を継ぎ足してほぼ100%、下刈りについては、町の17%継ぎ足しがあるが、県の補助が隔年であり、県の補助のある年にはほぼ100%、そうでない年には85%前後ということになる。ネットについても町が10%を継ぎ足してほぼ100%の補助金がある。